

## 令和3年度 第3回 大垣市行政改革推進審議会 会議録

日 時：令和3年9月30日（木）午後1時30分から午後2時15分まで

場 所：大垣市役所 4階 4-4会議室

議 題：令和3年度事務事業見直しの提言

出席者（敬称略）

（委員）谷江 幸雄〈会長〉

小原 勝、小林 一貴、高木 健志、今井 茂樹、杉田 邦隆、蒲田 晃二、  
水野 靖弘、多和田 智子、雨宮 明日香、岩下 里美【計11人】

（市及び事務局）

石田 仁（市長）

岩崎 義博（総務部長）、安田 佳樹（行政管理課長）、

加藤 重徳（行政管理課主幹）、舟橋 雄太（行政管理課主任）、

竹内 実紗（行政管理課主任）

欠席者（敬称略）（委員）野崎 道哉

事務局

※ 欠席者の報告（1名）

※ 大垣市行政改革推進審議会設置条例第6条第2項の規定に基づき、本会  
が成立していることを報告

※ 公開審議を宣言

- ・それでは、事業見直しの提言につきまして、谷江会長から石田市長に提出  
させていただきます。
- ・谷江会長と石田市長は、前へお進みください。

会 長

※ 提言書を読み上げ、石田市長へ提出。

市 長

※ 提言書を受理。

※ 提言書を受けて、お礼の挨拶。

- ・皆さん、こんにちは。大垣市長の石田 仁でございます。
- ・皆様方には小川市長の代から大垣市の行政改革に携わっていただき、素晴  
らしい大垣市を作るためにご協力いただいていること、まずもって厚くお  
礼申し上げます。
- ・このたび、市民サービスに関する提言書をいただきまして、委員の皆様  
には心から感謝申し上げます。
- ・また、本日は、大変ご多用のなか、大垣市行政改革推進審議会にご出席  
いただきありがとうございます。
- ・重ねて、日ごろから、委員の皆様におかれましては、本市の市政運営に格  
別なご尽力いただいておりますこと、お礼申し上げます。
- ・さて、コロナ禍で世界規模の混乱が巻き起こっております。本日9月30  
日は国の方も県の方も緊急事態宣言解除という方向で進んでおり、本審議  
が終わった後、大垣市でも非常事態宣言をどうするのか会議を開くところ

です。皆様のご協力のおかげで、第5波が少しずつ収まりつつあると思いますが、まだ市民生活が混沌としており大変な状況です。

- ・私ども行政を取り巻く環境も、日々目まぐるしく変化しており、ニューノーマルの時代に向かって、今、大きな転換期にあるものと感じております。
  - ・このコロナ禍で、行政改革をどのように進めていくか、行政改革を絶対に止めるわけにはいかない中で、市民のためにも社会のためにも行政改革をしながら行政運用をしていくことが大切であると考えます。事業によって生まれるサービスは市民皆様が享受するものでありますが、その一方で、事業を提供するための原資をまかなうのも、また同じく市民の皆様となります。
  - ・市民サービスを考えると、受益者と供給者の両側面から、必要性、妥当性を検証し、バランス良く取り組んでいくことが重要であると考えております。
  - ・そういう意味において、限りある行政資源を効率的に市民サービスへと変換し、市民一人ひとりが幸せを実感できる希望あふれる大垣を創っていきたいと考えております。
  - ・委員の皆様には、今回、3つの事業についてご審議いただきましたが、これを真摯に受けとめ、この後も大垣市のためにご指導を賜りますよう心からお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。
  - ・このたびは本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いたします。
- 事務局
- ・それでは、以上をもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。
  - ・ありがとうございました。

※ 閉会（終了時刻：午後2時15分）